

**JU** 城西大学  
**Jbc** 城西短期大学  
坂戸キャンパス  
東京紀尾井町キャンパス  
<https://www.josai.ac.jp>



## AIって何か説明できますか？

- AIはArtificial Intelligenceの頭文字をとったもので人工知能と言われる。
- 人工知能とは、「計算 (computation) という概念と「コンピュータ (computer) という道具を用いて「知能」を研究する計算機科学 (computer science) の一分野」を指す語であり、「言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術」といわれる。
  - シンギュラリティ (Singularity; 技術的特異点) : AIなどの技術が、自ら人間より賢い知能を生み出すことが可能になる時点を指す。米国の数学者ヴァーナー・ヴィンジにより最初に広められ、人工知能研究の権威であるレイ・カーツワイル博士も提唱する概念である。
  - 2045年問題: レイ・カーツワイル博士は、「2029年にAIが人間並みの知能を備え、2045年に技術的特異点がある」と提唱している。

数理・

データサイエンスセンター

キックオフ  
シンポジウム

秋季学位記授与式、新2年生に1年越しの入学式

JOSAI  
Sports

全日本大学女子駅伝7位入賞で3年連続シード権  
箱根駅伝は本戦出場逃す

130人が  
巣立ち

令和3年度秋季学位記授与式 2021.9.18

## 「一期一会」を心に描き 友人知人の輪を

(藤野  
学長)

## 心のアンテナ高く掲げ、 夢と志を持って社会へ

(上原  
理事長)

令和3年度の秋季学位記授与式は9月18日、清光ホールで執り行われました。この日、城西を巣立ったのは、留学生を含む大学院生や学生計130人。授与式では、藤野陽三学長から博士と修士、各学部学科の代表者に学位記が手渡されました。

藤野学長は告辞で「友人をいかにオンラインでも作れるかということ、アフターコロナの社会において非常に重要だと思います。人との出会いを大事にする『一期一会』の気持ちを心に思い描いていただき、ぜひ友人、知人の輪を広げてください」と卒業生に呼びかけました。

また、上原理事長は祝辞で「心のアンテナを高く掲げて知識を広めること、考え続けること、コミュニケーション力を高めること、夢と志を持つことを心掛けて、社会の第一歩を歩み始めていただきたいと思



藤野学長から学位記を受け取る卒業生 答辞を読む外山修さん

す。明日の自分は、今日の自分が何を考え、どう行動したかの結果である」と述べて、卒業生を激励しました。

卒業生を代表して外山修さん(経済学部)が答辞。外山さんは「昨年、とある事情で抜け殻のような時期がありましたが、そんな私を立ち直らしてくれたのは、諸先生方や事務職員の方、友人や家族の存在でした。これから進む路は決して平坦ではないと思いますが、城西大学で学び得てきた知識や経験に誇りと自信を持ち、歩んでいきたい」と決意を述べました。

## セキ・コミュニティ・スカラシップ表彰式

新入生7人、4・5年生6人が受賞

2021  
7.3

清光会館大会議室で7月3日、セキ・コミュニティ・スカラシップ表彰式が開かれました。本学薬学部卒業生の関伸治氏が会長を務める株式会社セキ薬品からの寄付金により新設された奨学金制度で、コミュニティ(地域社会)の健康増進を積極的に支援する薬剤師の養成および人材育成を支援することを目的としています。



今年度は、新入生を対象としたフレッシュマン・スカラシップ7人、4・5年生を対象としたピアサポーター・スカラシップ6人の計13人に授与されました=写真。5年生の小山さんが受賞者を代表して挨拶。「今回はコミュニティと薬剤師のかかわり方について考える良い機会をいただきました。地域の皆様にかかわっていく中で、健康に対しての悩み等を解消できるような薬剤師を目指していきたい」と決意の言葉を述べました。

来賓祝辞で関会長からは「母校である城西大学の名声を広め、卒業生がいかに社会に出て活躍できるかを応援していきたいと思

## 奨学生第二種特待生 表彰式

城西大学46人、城西短期大学1人

2021  
6.25

令和3年度の城西大学・城西短期大学奨学生第二種特待生の表彰式が6月25日、清光ホールで開かれました=写真。制度は創立者・水田三喜男先生の育英理想実現を目的に設立されたもので、人物・学業ともに優秀な学生を対象に授業料の一部を奨学金として支給しています。

第二種は2年生以上を対象で、今年度は大学46人、短大1人が選出されました。理学部化学科4年、井上悠佳さんが特待生代表のこぼを述べました。井上さんは「城西大学には、これまでの怠惰な自分を変えた環境がありました。本学で身につけた知識や経験を活かして、来年から(民間の)技術開発職員として日々努力していきたいと思



## 緊急事態宣言下、後期授業が始まる

高麗祭は2年連続で中止

2021  
9.20~

新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言が延長される中、9月20日から後期の授業が始まりました。

前期同様、感染症対策を十分に講じたうえで対面授業を主体に実施していますが、状況に応じてはハイブリッド授業も実施。また感染状況

や各種事情を考慮して、全面オンライン授業となることもありました。

授業時間は東武東上線と東武越生線の混雑状況を考慮して、坂戸キャンパスでは1限を午前10時開始とし、授業時間を80分としました。不足する授業時間は課題や予習、復習等で補います。紀尾井町キャンパスは通常の授業時間帯で実施しています。

緊急事態宣言の延長に伴って、今年も高麗祭は中止となりました。大学最大のイベントは2年連続で開催できなくなりました。

## 新2年生に1年越しの入学式

上田紀行東工大教授が来賓祝辞  
生活支援品のプレゼントも

2021  
4.30

新2年生の入学式が4月30日午後、総合体育館で執り行われました。昨年は新型コロナ感染症の感染拡大のため中止となっており、新2年生にとっては1年越しの入学式となりました。コロナ禍の中、入学して1年間、オンライン授業等で多くの負担をかけたとして、新たな気持ちで新年度をスタートしてほしいと開催に至りました。入学式には約1800人の新2年生のうち、約600人が参加しました。

藤野陽三学長の告辞、上原明理事長の来賓祝辞に続いて、東京工業大学教授で同大のリベラルアーツ教育のリーダーを務める文化人類学者の上田紀行先生の祝辞がありました。上田先生は冒頭、「2年目のこの時期に入学式をやるうと、皆さんのことを思ってくれた人がいる。そのことに『おめでとう』と言いたいと思います」と語りました。そして「思い」を巡って「人間は誰かから思いをもらったら嬉しい動物です。だけど自分が思いを持ったら輝く動物なんです。本当に輝いてい

る人は、自分の中にあふれる思いを持っている人なんですね」と述べました。さらに「この素晴らしいキャンパスで思いを育て、そして輝く人になってください」と呼びかけました=写真①。



会場の椅子には、新2年生のために本学と連携協定を結ぶ株式会社セキ薬品から贈られたパネルパン3台分もの生活支援の品が、袋に小分けされて置かれました。不織布マスクや除菌洗剤、歯ブラシなど。参加した学生たちは思わぬプレゼントを手に笑顔で会場を後にしていました=写真②。また後日、希望する女子学生に生理用品の配布もありました。



## 12人の先生に名誉教授称号を授与

2021  
7

令和3年度の城西大学名誉教授の称号授与式が7月、2回に分けて水田三喜男記念館講堂で行われました。

7月2日に授与されたのは、経済学部長などを歴任された上山邦雄先生▷経済学部の学科主任などを歴任された浦上博遠先生▷本学におけるキャリア教育の基礎を構築された坂口博先生▷副学長などを歴任された森田昌幸先生▷副学長などを歴任された小林毅先生▷国際教育センター所長などを歴任された龍慶昭先生▷経済学部長などを歴任された安田信之助先生(都合により欠席)——の7人=写真①。

7月9日に授与されたのは、理学研究科長などを歴任された石橋宏行先生▷数学科の2校地教育に尽力された西沢清子先生▷理学部長などを歴任された上原博通先生▷理学部長などを歴任された栗原照夫先生▷薬学部長などを歴任された横江一朗先生——の5人=写真②。

先生方は藤野陽三学長から名誉教授称号記を受け取った後、それぞれ謝辞を述べられました。



①=左から龍先生、坂口先生、上山先生、草野短大学長、藤野学長、小林先生、森田先生、浦上先生



②=左から石橋先生、西沢先生、上原先生、草野短大学長、藤野学長、栗原先生、横江先生

## 小林順薬学部教授

厚生労働大臣表彰

2021  
8

——栄養士の養成、資質向上に尽力



薬学部医療栄養学科(管理栄養士養成課程)の小林順教授=写真=が8月、多年にわたり栄養士養成と栄養士の資質向上に尽力してきたとして、厚生労働大臣表彰を受けました。小林教授は「栄養士養成成功者の厚生労働大臣表彰を受賞させていただきました。皆様方のご指導の賜物と存じます。今後も城西大学の発展のためお手伝いさせていただければと思います」と話されています。

# 数理・データサイエンスセンター

## ——全学的な独自教育プログラム設定

今年度発足した数理・データサイエンスセンターは、城西大学における先進的な数理科学の教育・研究の基盤としての役割を担うとともに、学部間や他大学などの教育・研究機関や企業との教育・研究の連携・交流の場をつくるのが目的です。具体的には、AI(人工知能)を用いた様々な研究を行うとともに全学的に数理・データサイエンス教育をサポートしていきます。

後期から数理・データサイエンスセンターが中心になってデータサイエンス教育プログラムが全学で始まるのを前に、センターのキックオフシンポジウム「拡がっていくデータサイエンス・AI」が9月18日、オンラインで開かれました。上原明理事長と藤野陽三学長が開会挨拶。喜連川

### キックオフシンポジウム

2021  
9.18

優・国立情報学研究所

長の基調講演とパネルディスカッションが行われました。

現在はデジタルトランスフォーメーション革命(IoT、ビッグデータ、AIなど)の時代と言われ、文理を問わずデータサイエンスのスキル(能力・技術)を身につけた人材が求められており、国は全学生にデータサイエンスの基礎的素養を身につけることを要請しています。このため、城西大学では今年度以降の入学生を対象にセンター提供の科目「データサイエンス入門」を基礎とし、各学部学科で学ぶ関連科目と合わせて有機的にデータサイエンスの素養を身につけていく独自の教育プログラムを設定しました。そのプログラムを修了した学生には修了証を授与する予定です。



キックオフシンポジウムの様子

## 山村国際高校と包括連携協定を締結

### ——高校との包括連携8校目

城西大学、城西短期大学は6月11日、学校法人山村学園山村国際高等学校(坂戸市千代田1/生徒数810人)と包括連携に関する基本協定書を締結しました。本学には短大を含めて全学部<sup>に</sup>に47人の山村国際高等学校の卒業生が学んでいます。清光会館で行われた締結式には、本学から藤野陽三学長、草野素雄短大学長らが出席。山村国際高等学校からは中山達朗校長先生らが参加されました。中山校長先生は「箱根駅伝など様々な活躍ぶりは耳にしています。本校の生徒が施

2021  
6.11

設をお借りして練習させていただき、学業でも大学の学習

内容を知ることで、大学をより身近に感じることができます。例年以上に地元の城西大学さんに進路先として開拓していただくことが、今回の目的の一つです」と話されました。

山村国際高等学校は1922(大正11)年、「裁縫手芸伝習所・山村塾」が前身で来年、開校100周年を迎えます。1999(平成11)年、男女共学化に伴い、現在の校名となりました。

高校との包括連携は、武蔵越生高等学校や埼玉平成高等学校、鶴ヶ島清風高等学校、坂戸西高等学校などに続き8校目となりました。



中山校長先生前列中央を囲んで記念撮影

## TJUP(埼玉東上地域大学教育プラットフォーム)がJT&Bと包括協定締結

本学も参加する埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)と株式会社JT&B川越支店が10月1日、包括協定を締結しました=写真。

TJUPは、東武東上線と西武線沿線の大学・短期大学、自治体、企業が連携するプラットフォームで、「多様な高等教育」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」を掲げて2018年8月に誕生しました。これまで、地域産業の活性化を目的に様々な企業などと共同して活動の拡大を図ってきました。今回の締結もこの活動の一環です。



2021  
10.1

締結式には、株式会社JT&B川越支店の芳野忠司支店長をはじめ、担当校の埼玉女子短期大学の楳沢栄一学長、本学の藤野陽三学長、松本明世地域連携センター所長ら関係者が出席しました。

締結を終えて、藤野学長は「緊急事態宣言が解けた初日にこうした調印式が出来たのも何かのきっかけ。地域交流に慣れたJT&Bさんに加わっていただくことは、我々にとっても嬉しいことです。学生が安心して移動できる機会をつくっていただきたいと思います」と挨拶。芳野支店長は「我々は域内のお客さんに旅行に行っていただくとともに、世界を含めて外の方に域内に来ていただくという営業活動を両面で展開しております。地域の魅力づくりに貢献できるような人材育成のお手伝いが出来ればありがたいと思っています」と語られました。

## 「薬物乱用のない社会を」

### ——薬物防止教育講演会

#### 学生委員会などが共催

薬物防止教育講演会が7月20日、水田三喜男記念館講堂で開かれました=写真。現代政策学部の政策研究基礎、社会福祉概論A、学生委員会が共催。近年、大学生が薬物犯罪にかかわる事案が多発していることを受けて、「薬物乱用のない社会と学生生活を十分に理解する機会につなげてほしい」と開催しました。1、2限の各自の履修科目の時間にズームも併用して開きました。



2021  
7.20

薬物政策の専門家である厚生労働省医薬・生活衛生局の監視指導・麻薬対策課長の田中徹先生をお招きし、日本の薬物政策や薬物防止のための基礎知識を学びました。田中先生は「医薬品でも用法・用量を守らなければ薬物乱用になります。SNSなどで薬物を誘われてもきっぱり断ることが重要です」と学生に呼びかけました。

コロナ禍でも大学の部活仲間やSNSを通じて薬物入手するなどの薬物事件が全国で相次ぎました。文部科学省は教育現場における薬物防止教育の強化を打ち出し、大学においても、入学時のガイダンスやさまざまな機会を通じて、学生に対して薬物乱用防止にかかわる啓発・指導を徹底するよう求めています。

## 新型コロナワクチン職域接種

### ——総合体育館を会場に2200人が接種

2021  
9  
~10

城西大学での新型コロナウィルスのワクチン職域接種が9月から10月にかけて、総合体育館を会場に行われました=写真。

希望する学生、教職員やその家族、学校関係者らが対象で、1回目が9月1日から7日までの平日5日間、2回目が9月29日から10月5日までの平日5日間でした。モデルナ製のワクチンによる接種で、約2200人が2回の接種を済ませました。

職域接種は坂戸保健所の管轄により、本学が主催。坂戸中央病院



の医師や株式会社日本メディアスタッフが手配した看護師など医療従事者らが参加したほか、受付や検温、予診票の確認、誘導などを本学職員が行いました。

また、坂戸市の入西地域交流センターで7月から8月にかけて行われた市の集団接種に薬学部医療栄養学科を卒業した大学院生がボランティアで協力しました。期間中、18人が参加。予診票の確認作業や誘導などに当たりました。

## 1、2年生の合同セミナー開催

### ——学年間の親交深める 現代政策学部・飯塚准教授

2021  
7.28

現代政策学部の飯塚智規准教授が7月28日、フレッシュマン(1年生)とソフォモア(2年生)との合同セミナーを開催しました。

これまでのフレッシュマンセミナーで1年生がキャンパスツアーを企画し、2年生をアテンド、2年生は初めて本学を訪れた高校生となってツアーに参加し、1年生から説明を受けました。ツアー終了後、反省点や改善点について1、2年生が合同で



キャンパスツアーの様子

グループディスカッションをして、その結果を発表しました。

学年を越えて共同で作業を行うことで学生間の親交を深める。企画側(1年生)と参加側(2年生)との間でのニーズや意識の違いがあることを認識し、その溝をどのように埋めるかを考える。本学のPRとなるポイントを調べ、それを共有することによって自分の大学について理解を深めることを狙いとしました。約30人が参加。全体説明で飯塚准教授は「チャレンジングな企画になります。学年を飛び越えて、同期や先輩・後輩と一緒に学んで生活していくことに本来の大学生活の醍醐味があります。学年の壁を越えて親交を図ってください」と学生たちに呼びかけました。

## 薬科学科が「研究室インターンシップ」

### 初の試みに6高校から18人参加

薬学部薬科学科の栄養生理学研究室による初の試み「研究室インターンシップ2021」が今夏、3回に分けて行われ、計18人の高校生の皆さんが参加しました。

インターンシップに参加したのは、坂戸西高等学校、城西大学付属川越高等学校、山村国際高等学校、埼玉平成高等学校、武蔵越生高等学校、鶴ヶ島清風高等学校の6校の生徒の皆さん。

初回のガイダンスで学科主任の古旗賢二教授は「研究は楽しいも

のです。研究の一端に触れていただき、ご自身が将来どのような進路に進むかの参考になればと思います」と呼びかけました。研究室の片倉賢紀准教授は「脂肪酸をメインにして細胞に対してどういう影響があるのか、また酸化ストレスに対して脂肪酸がどういう効果があるのかを、実際にいろいろな角度から検証していきます」と説明。生徒の皆さんは用意された白衣を身につけ、早速、研究室の大学院生や学部生の指導の下、実験に取り組みました。



実験に取り組む高校生の皆さん

## 勝浦ゼミ りんごの産地でサポート活動

2019年10月12日、台風19号によって長野市のりんご農家は大きな被害を受けました。りんごの収穫期だったこともあり、経済的・精神的なダメージは大きいものでした。経済学部の勝浦ゼミでは、それからちょうど2年になる10月9、10日の1泊2日で、感染予防対策を徹底した上で長野市のりんご農家を訪問し、りんご収穫などのサポート活動を

2021  
10.9  
~10

行いました。参加したゼミ生たち=写真=は、災害復興の重要性や農業によるまちづくりを学ぶとともに仲間たちとの収穫体験と合宿を通じてチームワークの重要性を体感できたようです。



## 高柿ゼミの菅原さんチーム 大学対抗コンペ第2位に

2021  
6.17  
~9.10

経営学部高柿ゼミの菅原響喜リーダーチームが、6月17日~9月10日にかけてオンラインで行われた「大学対抗『健康』×『マーケティング』コンペティション」(社会的健康戦略研究所主催)において第2位の成績を収めました。コンペには全国10大学から32チームが参加。SDGsに則り、『働くこ



上段右が菅原さん

とで、Well-beingを実現する」を産学連携で考えることを共通テーマとして、自己保健応力向上に向けた企業課題に取り組みました。

菅原リーダーチームはauフィナンシャルサービス株式会社の「持続可能な健康経営をサポートする新たな金融サービスとは?」の課題に対して、auPAYシステムを活用した「個人間の融資をサポートする金融サービス」を提案しました。審査内容としては、事業の実現可能性の高さを評価いただきました。

## 薬科学科天然物化学研究室「狭山茶」を研究

特徴的成分を解明し天然素材の開発を目指す 2021 5、7

薬科学科天然物化学研究室は今年度から、狭山茶に関する研究をスタートさせました。鈴木龍一郎准教授が指導する天然物化学研究室は、自然が創り出す天然有機化合物の構造とその生理活性の魅力を感じながら、生活を豊かにしてくれる天然素材の開発を目指しています。また、植物の作り出す成分に着目し、生活者の「健康と美」に貢献する研究も進めています。今回の狭山茶の研究はその一環です。

狭山茶は日本三大銘茶の一つで、埼玉県入間市には広大な茶畑が広がっています。研究室のメンバーは今年5月に同市にある埼玉県

茶業研究所を訪れ、茶摘み体験や茶の製造工程の見学をしました。研究所の方からは、茶栽培の現状や抱えている課題などを聞きました。また、2回目の茶摘み体験を7月に行いました＝写真。今後、狭山茶に特徴的な成分の解明を行っていく予定です。

薬科学科では、「足を使って現場を自分の目で見て、話を聞き、課題を探し、それを技術で解決する」というアクティブラーニングを行っています。同研究室では、所有する技術で茶産業の抱える課題の解決や産業の発展に貢献できないか、研究していくことにしています。



## 「べに梅」加わり「JOSAIコラーゲンようかん」3味に日本経済新聞「キャンパス発 この一品」で紹介

2021 10.8



「JOSAI スポーツようかん」から名称を変更した「JOSAI コラーゲンようかん」は、管理栄養士を目指す医療栄養学科の学生たちが、城西大学のアスリートたちを「食」の面からサポートしたいと考案。7月から販売を始めました。

膝痛軽減や骨密度の低下予防の効果が期待されているコラーゲンペプチドが配合されているため、コラーゲンを強調したネーミングにしました。急激な血糖値の上昇を抑え、脂質利用促進効果が報告されているパラチノースを使用しているほか、たんぱく質が一般のようかんの約2倍となっています。ゆず味と塩味の2種類。各150円(税込)。10月8日の「ようかんの日」には、新たに越生町在来種の梅を使った「べに梅」が追加されました＝写真中央。この「JOSAI コラーゲンようかん」は8月18日付の日本経済新聞教育面の「キャンパス発 この一品」で紹介されました。

「JOSAI コラーゲンようかん」は「JOSAIサポートオンラインショップ」＝URL＝などで販売しています。

<https://www.josai-support.com/shopping/?ca=1>

## 大澤さんの「箱寿司」介護食コンテスト特別賞受賞

郷土料理の介護食メニューを提案する「第1回ナリコマpresents 介護食コンテスト」で医療栄養学科4年の大澤幸之助さんが特別賞を受賞しました。同コンテストは、美味しい介護食を追求する食品メーカー「ナリコマ」が主催。大澤さんは、大阪府の郷土料理「箱寿司」＝写真＝を提案しました。

審査員からは、「彩りの鮮やかさや旬の食材を取り入れた点から食の楽しさを感じられる作品」で「軟飯特性を考慮して、粘りが出ないように粉末寿司酢を取り入れる工夫をした」などの評価を得ました。

大澤さんは、これまでもインスタントラーメンレシピコンテストで優勝、ローリングストックアイデアレシピコンテストで社長賞受賞、コロギレシ

## 矢島助教が「太りにくい」マフィンを開発 研究紹介したWebサイトが膨大な閲覧数獲得

2021 7.22

薬学部薬科学科栄養生理学研究室の矢島克彦助教は、不飽和脂肪酸の比率を高めた脂質を含む「太りにくい」オリジナルマフィン＝写真＝を開発しました。一般的なマフィンと比較して、食べることで24時間の脂肪燃焼量が約10%上昇するというものです。



脂質は、常温で固まりやすい飽和脂肪酸(バター、ラード、パーム油など)と常温でも固まりにくい不飽和脂肪酸(オリーブ油、菜種油、アマニ油など)に分類され、マフィンをはじめ一般に流通するお菓子やケーキ生地は飽和脂肪酸を主とした脂質を含みます。一方、不飽和度の高い脂肪酸は、血液中から細胞内に取り込まれたのち脂肪燃焼の増加に関与する酵素や輸送体を活性化する効果を示します。そのため、取り入れることで脂肪燃焼量が上昇すると考えられています。矢島助教は含まれる脂質の不飽和脂肪酸の比率を高めたオリジナルマフィンを開発、このマフィンを食べることで、24時間の脂肪燃焼量が約10%上昇することを確認しました。

矢島助教のこの研究は、7月22日に大学ニュースに特化したWebサイト「大学ジャーナル」で紹介され、膨大な閲覧数を獲得しました。

ビグランプリで準グランプリを受賞するなど数々のレシピコンテストで素晴らしい成績を取って来ました。大澤さんは「介護食は閉鎖的なものというイメージを持っていました。自分が少しでも華やかな介護食を作ることが出来れば、閉鎖的なイメージを変えていくお手伝いができるのではないかと思います。今回の作品は家族との大切な時間をともに過ごせるよう、常食と変わらない見た目、味、感動をテーマに作りました。実際に作ってもらい、少しでも笑顔になっていただけたら、これ以上の喜びはありません」と語りました。



## 「子ども大学にしているま」オンライン開校

坂戸市・毛呂山町・越生町の小学生11人が参加

「子ども大学にしているま」を8月28日に開校しました。今回は、Zoomによるオンライン開校となりました。坂戸市、毛呂山町、越生町の小学校4～6年生11人が参加し、午前は経営学部の石井龍太准教授の講義「生み出せ!ローカルヒーロー!!～子ども大学にしているまのヒーロー企画を作ろう～」＝写真①、午後には城西大学水田記念博物館大石化石ギャラリーの宮田真也学芸員の講義「大地からのメッセージ～化石が教えてくれること(古生物学超入門)～」＝写真②＝を受講しました。

石井准教授の講義では、城西大学の石井ゼミで学ぶ現役大学生

2021 8.28



のサポートも受けながら、ヒーローを考えるグループと武器を考えるグループに分かれ、皆で一つのヒーロー「イルMAX」を作り出しました。

宮田学芸員の講義では、石でなくとも化石と呼べるものがあることや発掘されたものから当時の環境を予測できる材料になることなど、これまで知らなかったことも学ぶことができました。

「子ども大学にしているま」は、明海大学・坂戸市・毛呂山町・越生町・城西大学が包括的に連携し運営しています。

## 病態解析学研究室がサッカー部を「栄養サポート」——学生同士のリアルな学びの「場」にも

医療栄養学科の病態解析学研究室が今年度から、サッカー部の栄養サポート活動を展開しています。まず手始めに行ったのは、身体状態や習慣的な食事・栄養素摂取状況の改善点を見出すため、選手の食事調査と体組成測定で＝写真。前期は「食事は身体作りの基礎」をテーマとして、エネルギー収支バランスの整った食事の摂り方に意識を持ってもらいました。



病態解析学研究室は公認スポーツ栄養

士の資格を持つ伊東順太助教が指導する研究室です。医学・栄養学・スポーツ科学の観点から選手のスポーツ傷害予防およびコンディション維持を目的とした研究を行っており、選手のコンディションやパフォーマンスと栄養摂取の関係を調査・研究しています。今年度から始めたサッカー部に対する栄養サポート活動は、こうした調査・研究の一環で、食・栄養を通じた学生同士のリアルな学びの「場」ともなっています。

サッカー部の東海林毅監督は同研究室による栄養サポートについて「大変ありがたい試みで、選手たちの食事に対する意識が変わるとともに、パフォーマンスが上がってくれば」と期待を寄せています。伊東助教は「こうした学部・学科の垣根を越えた活動を通じて、物事に対する考えを学生間で共有し、論議し、協力し、他己の理解を深めることで、コミュニケーション能力を養ってほしい」と話しています。

## 合同大学祭「3J Festival」オンライン開催

2021 10.9 ~10

——東京紀尾井町キャンパスで

2017年から東京紀尾井町キャンパス(東京都千代田区)で行われている「3J Festival」は、城西大学・城西国際大学・城西短期大学の3大学、3つの「J」が合同で行う大学祭です。5回目となった今年の合同祭は10月9、10日の2日間、学生が中心となって行う企画とゲストをお呼びしての企画をオンラインで開催しました。

一般公開された9日の合同祭は、東京紀尾井町キャンパス1号棟ホールで午後1時にスタート。各サークルのアカペラやダンス、エレクトーン演奏、軽音楽部員の弾き語りのほか、ゼミの活動発表がありました(映像参加も)。短期大学の三國信夫先生や理学部数学科の高山晴子

先生が参加した「3J教員対談」と数学会の染谷亮輔会長が参加した「3Jサークル長対談」＝写真＝を挟んで、音楽ライブパフォーマンスが展開され、午後4時終了しました。ライブ配信は、城西国際大学メディア学部の学生や卒業生約30人が担当しました。

東京紀尾井町キャンパスでは、坂戸キャンパスと2キャンパス制となっている理学部数学科約250人と短期大学ビジネス総合学科約50人の学生計約300人が学んでいます。



## 千代田区情報誌が「車いすステーション」紹介

2021 9.21

千代田区社会福祉協議会の情報誌「ちよだ社協」秋号(9月21日付)で、東京紀尾井町キャンパスの「車いすステーション」が紹介されました＝誌面写真。同社会福祉協議会では、千代田区の個人宅や企業、大学、福祉施設などに車いすを設置して、貸し出しを行っています。一時的な外出や通院など千代田区内で1週間以内の使用であれば、だれでも無料で車いすが利用でき



ます。東京紀尾井町キャンパスには1号棟に1台、3号棟に2台が配備されています。

情報誌では法人本部の総務課職員がインタビューに、「繰り返し利用する方も増えて、大学のことを知ってもらう機会にも恵まれました。『城西大学の車いすステーションは親切だね、感じがいいね』と思っていただけるよう、今後も心がけていきたいと思っています」と答えました。

女子駅伝部

# 全日本大学対校7位入賞 3年連続でシード権

2021  
10.31

1区木村、2区森尻、6区藤村ら好走  
富士山女子駅伝への出場決める

第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会は10月31日、宮城県仙台市で6区間38.1kmのコースで開かれ、27年連続28回目の出場的女子駅伝部は2時間7分10秒で7位入賞を果たしました。目標の3位には届かなかったものの、一昨年6位、昨年7位に続き、3年連続でシード権(8位以内)を守りました。併せて12月30日開催の全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)への出場を決めました。

1区に抜擢されたのは、今季好調のルーキー・木村桜華選手(現代政策1)。木村選手は期待に応じてトップと7秒差、2位と秒差なしの4位で昨年の主将・森尻真優選手(経営3)に襷を繋ぎました。復調した森尻選手は区間3位の力走でチーム目標の3位に順位を上げました。渡辺光美選手(経営3)と大学駅伝初挑戦の田代なのは選手(医療栄養1)は粘りの走りを見せて4位をキープ。最長区間の5区は3年連続でエースの福嶋摩耶選手(経営3)が務めました。今ひとつピッチが上がらず、8位に順位を落としました。しかし、最終走者の主将・藤村華純選手(経営3)が区間3位と意地の走りで順位を1つあげて、昨年と同じ7位でフィニッシュしました。

赤羽周平監督は「学生たちとともに決めた『全日本3位』という目標は、残念ながら達成することができませんでした。3年連続でのシード権獲得という結果ですが、本当に悔しい7位です。今回、学生たちは本気で全日本3位を目指した取り組みに挑戦し、その取り組みをクリア

して大会を迎えていました。チーム全体の雰囲気も良く、心からうれしくまた頼もしく思っています。富士山女子駅伝に向けて、今大会の反省や教訓を活かし、もう一段階上の攻めの取り組みで、学生たちとともにチーム強化を進めていきたいと考えております」と語りました。



2位と秒差なし1区・木村選手から2区・森尻選手に襷リレー  
=月刊陸上競技提供



順位を上げてゴールする藤村主将=月刊陸上競技提供

	名前(学部学年)	記録(区間順位)	通過順位
1区(6.6km)	木村 桜華(現代政策1)	21分55秒(4位)	4位
2区(3.9km)	森尻 真優(経営3)	12分23秒(3位)	3位
3区(6.9km)	渡辺 光美(経営3)	23分04秒(7位)	4位
4区(4.8km)	田代なのは(医療栄養1)	16分26秒(11位)	4位
5区(9.2km)	福嶋 摩耶(経営3)	30分43秒(8位)	8位
6区(6.7km)	藤村 華純(経営3)	22分39秒(3位)	7位

男子駅伝部

# 箱根駅伝予選会は総合15位 本戦出場逃す

2021  
10.23

「悔しい一言です」(榑部監督)

第98回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)予選会は10月23日、東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地で行われ、男子駅伝部は10時間49分32秒で総合15位となり、10位までの本戦出場を逃しました。一昨年の予選会も15位で本戦を逃した男子駅伝部は昨年、総合3位



日本人先頭集団で力走する砂岡拓磨選手  
=月刊陸上競技提供

と見事に復活を果たしました。来年の予選会でのリベンジに期待です。昨年と同じく無観客で駐屯地の滑走路(1周約2.6km)を周回するハーフマラソン(21.0975km)の公認コースで行われました。12人が出場し、上位10人の合計タイムで競いました。

強い風の吹くコンディションの下、選手たちのペースはなかなか上が

らず、5km時点での10人通過の順位は20番目。10kmの通過順位は19位、15kmは16位と上げたものの、18kmは15位にとどまりました。ゴール時点での10人通過は9番目と本戦出場圏内に期待を抱かせましたが、順位を上げることは出来ませんでした。

榑部静二監督は「当日は温かいご声援ありがとうございました。昨年3位のメンバーよりも高いレベルでトレーニングができていたため、今回の結果は悔しい一言です。今後も他大学との競争はより激化することは必至です。部員一同、振り返り、改善と実行の努力を重ねて参ります」と述べました。

個人成績

順位	名前(学部学年)	タイム
33位	砂岡 拓磨(経済4)	1時間03分29秒
81位	山本 唯翔(経営2)	1時間04分03秒
102位	山中 秀真(経営2)	1時間04分23秒
108位	野村 颯斗(経営2)	1時間04分27秒
152位	宮下 璃久(経営4)	1時間05分02秒
174位	小島 拓(経営3)	1時間05分22秒
193位	中田 侑希(経営2)	1時間05分41秒
196位	木村 吉希(経営3)	1時間05分41秒
197位	片瀨 大晴(経営1)	1時間05分42秒
198位	平林 樹(経営1)	1時間05分42秒

陸上競技部

# 鈴木涼太選手 日本インカレ200m優勝

2021  
9.17  
~19

100mは2位  
昨年水久保漱至選手に  
次いで連覇達成

第90回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)は9月17~19日、埼玉県熊谷市で開かれ、陸上競技部主将の鈴木涼太選手(経営4)が最終日の200mで、20秒50(追い風1.3m/s)の自己新記録(城西大学新記録)をマークして優勝しました。前日、100m



200mでトップでゴールした鈴木涼太選手(左)

の1秒差で惜しくも2位となった100mのリベンジを果たしました。昨年大会では水久保漱至選手(経営学部卒/現・第一酒造)が優勝しており、城西大学陸上競技部が連覇を達成。昨年大会の100mは優勝の水久保選手らに次いで3位、200mは2位だった鈴木選手。短距離2種目2年連続表彰台の偉業を達成するとともに、最終学年で学生日本一のタイトルを射止めました。

鈴木選手は5月にポーランドで開かれた世界リレーの4x100mリレーに日本代表として参加し、銅メダル獲得に貢献したのをはじめ同月の関東インカレの100mで連覇達成。6月の日本選手権では200mで2年連続の3位表彰台に上がりました。

サッカー部

# 男子トップチーム 埼玉県1部リーグ無敗で優勝

フットサル、女子も好調  
三位一体で歴史に挑む城西サッカー

城西大学サッカー部が好調です。男子のトップチームは埼玉県1部リーグで10月の後期最終節まで無敗を堅持して優勝。関東リーグ復帰を目指して30日からの関東大会に臨みました。

発足2年目のフットサル部門は、6月の全日本大学フットサル大会(インカレ)の埼玉県大会で優勝し、7月の関東大会でも3位に入って全国大会の出場権を獲得しました(コロナ禍で中止)。柴沼真監督は「大学フットサルでは、インカレと9地域大学リーグチャンピオンシップの2つの全国大会がありますが、2冠を取った大学は今までありません。歴史に挑戦できればと思っています」と語っています。

今年度からスタートした女子部門は、関東3部リーグ初挑戦ながら今シーズン6勝6敗と7チーム中3位と健闘しました。中上智晴監督は「学生が運営も含めて本当に意欲的に活動してくれました。後期は、前期に勝つことが出来なかった大学にも勝利するなど、学生の成長を感じ

ております。来季は、新入生を含めてさらにチームとして成長したいと考えております」と来季を見据えています。

サッカー部の東海林毅監督は好調の要因として「ピッチ内外における学生たちによる主体的取り組みが、少しずつですが内容と結果に現れ始めている」と語るとともに、今年3月に管理棟内にウェイトトレーニング機器が設置されたサッカー専用グラウンド「JOSAI SPORTS FIELD」の後押しも挙げています。

また、このほど本学と提携協定を結ぶ株式会社セキ薬品様とスポーツケア製品の輸入・販売などを手掛けるミューラージャパン株式会社様の両社とパートナーシップ契約も締結しました。

佐々木達也部長は「今シーズンから本格スタートした、男子、女子、フットサルの融合がうまく進んでいます。今後、より学生にとってプラスに働くように三位一体となって活動していくことが目標です」と語っています。



パートナーの名称の入ったユニフォームで戦う選手たち

# 経営学部の卒業生2人が東京五輪出場

——山口浩勢選手(3000m障害)、佐藤拳太郎選手(4x400mリレー)

2020東京五輪の陸上競技で、卒業生の山口浩勢選手(愛三工業)が3000m障害に、佐藤拳太郎選手(富士通)が4x400mリレーに出場しました。

山口選手は2014年、経営学部を卒業。大学時代は関東インカレの3000m障害で4連覇を達成したほか、箱根駅伝でも活躍。3、4年時は男子駅伝部の主将を務めました。2大会連続の出場となった佐藤選手は2017年、経営学部を卒業。4年時は陸上競技部の主将を務めました。山口選手は予選敗退。佐藤選手も日本タイ記録と健闘しましたが、決勝には進めませんでした。

山口選手は「初めてのオリンピックはあっという間に

終わってしまった感じですが、出場したことによる周囲の反響がすごく、日に日にオリンピックのすごさを実感しています。主要世界大会はほとんど経験しましたが、世界選手権が未経験のため、来年のオレゴン世界陸上でもう一度勝負できるように頑張ります」と語っています。パリ五輪を目指すという佐藤選手は「25年前の偉大な先輩方の記録に並ぶことができましたが、決勝に進出することができず悔しい結果となりました。パリ五輪では日本記録を更新して決勝でメダル争いができるチームを作れるよう準備をし、個人種目でも参加標準記録を突破できるよう努めていきたい」と抱負を語りました。



山口浩勢選手



佐藤拳太郎選手

## 図書館だより

### 教員おすすめ図書の小冊子(2021年度版)ができました

2021年度版の教員おすすめ図書の小冊子ができました=写真。教員が推薦する「学生に読んでほしい本」を教員おすすめ図書コーナー(1階)に置いています。また、小冊子は最新版の

ほか2016年度版からすべて図書館HPから見ることができます=URL①。それぞれの本に、1冊ずつ教員からの推薦コメントをもらっていますので、図書を通じた教員との交流を楽しんでみてください。



### 図書館学生アドバイザーがオープンキャンパスに参加しました

5月23日(日)、7月11日(日)・25(日)、8月9日(月)・21日(土)、9月26日(日)に開催されたオープンキャンパスに図書館学生アドバイザー5名(経済学部3年・外岡渉、経済学部4年・小松直人、経済学部4年・藤野優太郎、現代政策学部3年・中澤薫乃、現代政策学部4年・小坂橋勝美)が参加しました=写真。昨年はコロナ禍のため図書館学生アドバイザー席に設置されたパソコンを通しての対応でしたが、今年は図書館で高校生や保護者の方と直接交流することができました。また「TOSHOKAN QUEST」と連動し図書館内のチェックポイントを回るキーワードラリーではリアルとゲーム両方の雰囲気を楽しんでもらえ、高校生への参加記念品として準備した図書館学生アドバイザーオリジナルグッズの定期入れも好評でした。図書館学生アドバイザーにとっても、またひとつ成長できる貴重な機会となりました。



### 学生選書「ブックハント2021 Part1」を実施しました

6月7日～26日の約1か月間、学生自身が図書館で購入する本を選べるイベント、学生選書「ブックハント2021 Part1」を行いました=写真。今年もコロナ禍での実施のため、図書館に来館し1階特設スペースの掲示ポスターを見て読みたい本に直接投票シールを貼る方法のほか、オンラインで書影や内容を確認しながら選書できる方法で実施しました。選書された133冊の本の一部と図書館学生アドバイザーが作ったPOPは、図書館報『BookMark』の2021年7・8月号=URL②で紹介されていますのでぜひご覧ください。



### 第21回ライブラirieラウンジ「オンライングループワーク体験会」を開催しました

7月2日(金)に図書館学生アドバイザー主催の就活応援イベントとして、「1回はやってみたい! オンライングループワーク体験会」を開催(キャリアサポートセンター協賛)し、22名が参加しました。「掃除機を売り出すなら、テレビCMとYouTube広告のどちらが有効か」などをテーマに2回のグループワークを行い、図書館学生アドバイザーや参加した学生たちは司会者・書記・発表者を担当し、活発な意見交換を行いました=写真①。講師のキャリアサポートセンター井口日出男職員からは2回のグループワークへの講評と就活本番に向けた様々なアドバイスもいただきました=写真②。参加した学生達だけでなく、主催の図書館学生アドバイザーたちにとっても貴重な体験となりました。開催レポートは図書館報『BookMark』2021年9・10月号=URL②に掲載しています。



URL① <https://libopac.josai.ac.jp/search/recommend.htm>  
URL② <https://libir.josai.ac.jp/contents/josai/pdf/BookMark.htm>

### 展覧会開催報告

水田美術館では、7月26日(月)から10月15日(金)まで下記展覧会を開催しました。

#### 展覧会Ⅰ 「むんだすいぬやーぬ 首里城正殿の屋根」



【会期】2021年7月26日(月)～9月3日(金) 【会場】2階ギャラリー2  
2019年10月の火災が記憶に新しい沖縄の首里城一展は、長い歴史と多面的な性格を持つ首里城について、本学経営学部の石井龍太准教授(琉球考古専門)が企画し、特に「首里城正殿の屋根」に焦点を当てながら、様々な研究や文献から検証した首里城の復元図、屋根瓦等の展示からその実像に迫る試みとなる展覧会となりました。関連企画では、石井ゼミの学生、そして石井准教授による展示解説に加え、沖縄県立博物館・美術館主任学芸員の山本正昭氏によるリモート講演会を開催しました。



石井ゼミ生の展示解説



石井ゼミ展示作業



展示風景



石井准教授の展示解説



講演会会場風景



リモートによる講演



石井ゼミ展示作業

Art

美術館通信

#### 展覧会Ⅱ 「城西考古」



【会期】2021年9月20日(月)～10月15日(金)  
【会場】2階ギャラリー2  
本展では、大学草創期に大学近隣の遺跡発掘調査に携わり、今年2月に亡くなった貞末亮司先生(元城西大学教授)と故堀合威先生(元理学部准教授)、そして当時の大学生たちが残した縄文・古墳時代の発掘資料を、写真パネルとともにご紹介しました。「地域貢献活動」「大学間連携活動」の嚆矢とも呼べるこの発掘調査に焦点を当て、城西大学の考古学的学術成果と、城西大学の歴史、そして大学が建つ土地の歴史をご観望いただきました。



石井准教授の展示解説



展示風景写真

#### 展覧会Ⅲ 「収藏品展 浮世絵」



【会期】2021年9月20日(月)～10月15日(金)  
【会場】2階ギャラリー1  
本展では、平成29年度～令和2年度までに収集したJU (Josai University) コレクションの中から、浮世絵版画21点をご紹介します。歌川国貞、歌川広重、歌川国芳ら計7名の絵師の作品を展示し、美術館所蔵品をお楽しみいただきました。関連企画では、学芸員によるスライドトークを開催しました。



展示風景写真

スライドトークの様子



### 研修会開催報告

10月9日(土)午後2時～4時に、埼玉県博物館連絡協議会 西部地域前期研修会担当館として研修会を開催しました。前半では、当館学芸員から「城西大学水田美術館の紹介—大学美術館としての役割とその活動について—」と題し、「地域連携」「教員連携」を中心に、事例をまじえながら話し、芸術系学部のない大学美術館であるという特色を活かし、授業見学対応や授業での講義といった学生教育に資する活動を行う施設であることを説明しました。後半では、教員連携を示す展覧会として、開催中の「城西考古」展の見学と石井准教授の展示解説を行いました。



石井准教授による参加者への展示解説

最新情報は  
水田美術館  
HP、Twitterで  
ご確認ください



水田美術館 HP



水田美術館 Twitter